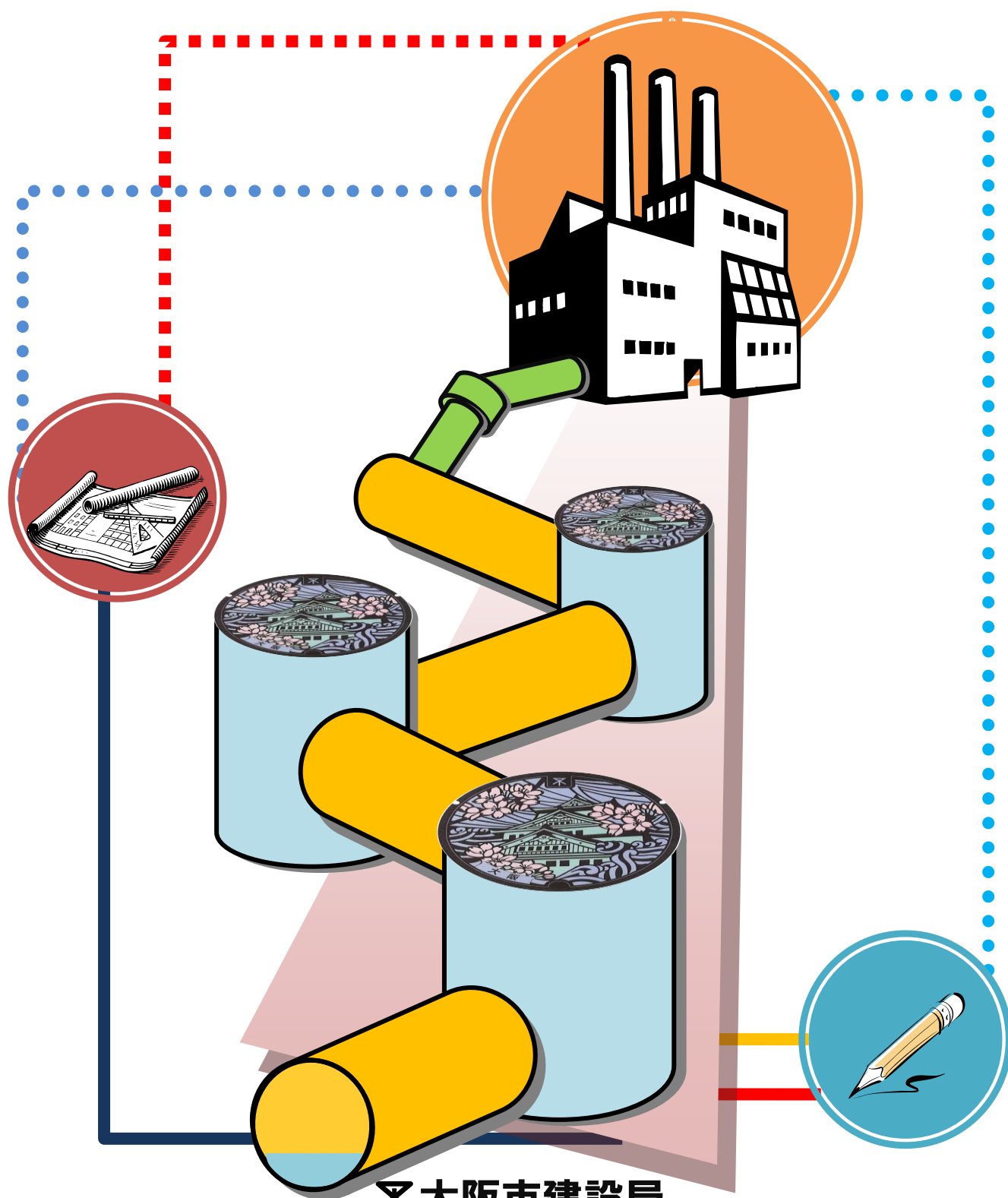


特定施設等の届出の手引き

【下水道法・大阪市下水道条例に基づくもの】



大阪市建設局

この手引きの構成について

この手引きは、下水道へ接続する事業者のみならず、『特定施設』や『除害施設（排水処理施設）』を設置する場合、下水道法や大阪市下水道条例に基づく届出を円滑に行うため、次の構成で説明しています。

なお、『特定施設』と『除害施設』ごとに説明している箇所があり、『特定施設』には **特定** 印を、『除害（排水処理）施設』には **除害** 印を表示していますので、該当箇所をご覧ください。

1. 届出が必要な要件とは	1 ページ
2. 特定施設関係の届出事由一覧表	2
3. その他の水質関係の届出事由一覧表	3
4. 届出に必要な添付書類	3
5. 届出の方法＜提出部数・提出先など＞	4
6. 届出の記入要領と見本＜設置の場合＞	5
7. その他の届出の記入要領と見本	17
8. 届出書を提出される前に	26



【届出を提出される事業者のみなさまへ】

大阪市に提出された届出書及び添付書類は、個人情報等公開できない情報を除き、「大阪市情報公開条例」の規定により情報公開の対象となります。

これらの規定を充分に理解していただき、届出の作成をお願いします。



1. 届出が必要な要件とは

（１）下水道法で対象となる施設

届出が必要な対象施設は、以下のとおりです。

特定

特定施設 { 1：水質汚濁防止法施行令別表第1で定める施設
2：ダイオキシン類対策特別措置法で定める水質基準対象施設 }

（２）大阪市下水道条例で対象となる施設等

届出が必要な対象施設や措置は、以下のとおりです。

除害

1：除害施設（下水道施設に機能障害や損傷を与える排水を処理する施設）
2：委託処分（排水や廃液等を専門業者へ委託処分する等の措置）

※排除基準のうち、直罰規定が適用される水質項目は除きます。

（３）対象となる事業場

工場・事業場排水の排出先が、

公共下水道（もしくは流域下水道）である事業場

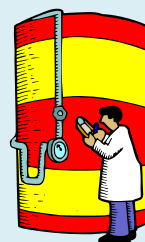


【有害物質を使用される事業者のみなさまへ】

有害物質を取り扱う次の施設を設置・変更等を行う場合は、水質汚濁防止法に基づく届出が別途必要となります。

- ・有害物質使用特定施設（有害物質を製造・使用・処理をする特定施設）
- ・有害物質貯蔵指定施設（有害物質を貯蔵する施設 ※可搬式ポリタンク等は除く）

詳しくは、届出の提出先[4ページ]へお問い合わせください。

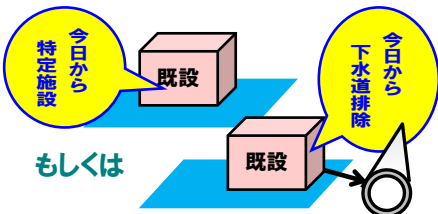
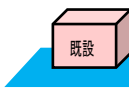
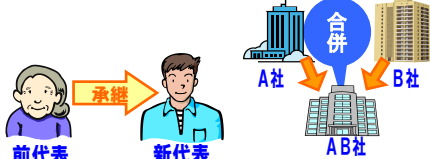


2. 特定施設関係の届出事由一覧表

特定

公共下水道（もしくは流域下水道）へ下水を排除する工場・事業場において、『特定施設』を設置するなどの以下の事由が発生する場合は、下水道法に基づく届出が必要となります。

なお、届出用紙は大阪市のホームページよりダウンロードできます〔4ページ参照〕。

届出の種類		届出を必要とする場合 (主なもの)	届出の時期	根拠法令 (下水道法)	施行規則 で定める 様式 〔 〕は見本ページ
1	設置届	- 新たに特定施設を設置する場合 - 老朽化に伴い更新設置する場合   特定施設を設置しよう	設置する 60 日以上前	第12条の3第1項	様式第六 〔5ページ〕
2	使用届	- 新たに特定施設となった場合 - 新たに下水道へ接続した場合  今日から 特定施設 もしくは 今日から 下水道排除	施行日から 30 日以内	第12条の3第2項 第12条の3第3項	様式第七 〔17ページ〕
3	構造等変更届	- 特定施設の構造や使用の方法 - 汚水の処理の方法 - 下水の量および水質 - 用水排水の系統 が変更となる場合   使用する薬品を 変更しよう	変更する 60 日以上前	第12条の4	様式第八 〔18ページ〕
4	氏名変更等届	- 届出者の氏名・名称・住所 - 事業場の名称・所在地 が変更した場合  役員交代 前社長 新社長 ⚠ 法人以外の個人企業の代表者 変更は、承継届となります。	変更日から 30 日以内	第12条の7	様式第十 〔19ページ〕
5	使用廃止届	特定施設の使用を廃止した場合  撤去 注意	廃止日から 30 日以内		様式第十一 〔20ページ〕
6	承継届	- 届出者から地位を承継した場合 - 法人が合併し、新たな法人となった場合 - 個人企業の代表者が変更した場合  前代表 新代表 承継 A社 B社 AB社 合併	承継日から 30 日以内	第12条の8第3項	様式第十二 〔21ページ〕



有害物質を使用した特定施設を廃止したときは、所有者等が土壤汚染対策法に基づき環境省令に定める調査を行い、大阪市長へ報告しなければならない場合があります。詳しくは、環境局土壌水質担当（06-6615-7926）まで。

3. その他の水質関係の届出事由一覧表



工場・事業場において、公共下水道（もしくは流域下水道）へ下水を排除する場合や除害施設（排水処理施設）を設置するなどの以下の事由が発生する場合は、届出が必要となります。

なお、届出用紙は大阪市のホームページよりダウンロードできます〔4ページ参照〕。

届出の種類	届出を必要とする場合（主なもの）	届出の時期	根拠法令等	施行規則で定める様式 〔〕は見本ページ
7 ※	公共下水道 使用開始（変更）届 - 排水量が最大 50m³/日以上である - 下水の水質が、排除基準値のいずれかを超える	あらかじめ	下水道法 第 11 条の2第1項	様式第四 〔23 ページ〕
	公共下水道 使用開始届 特定施設を設置する工場・事業場 ※上記届出をした事業場を除く	あらかじめ	下水道法 第 11 条の2第2項	様式第五 〔22 ページ〕
8	除害施設設置等 計画届 排除基準値以下の水質にするために、 除害施設の設置又は必要な措置を講じ ようとする工場・事業場	あらかじめ	大阪市下水道条例 第 10 条の2第2項	第 6 号様式 〔25 ページ〕

※（例）最大排水量 50m³/日以上の特特定事業場は、様式第四『公共下水道使用開始（変更）届』が必要となる。

4. 届出に必要な添付書類



既に説明した『3. 特定事業場の届出事由一覧』や『4. その他の水質関係の届出一覧』に掲げる届出を行う場合、下表のとおり定型の様式のほか、添付書類が必要となります。

届 出 の 種 類		定型様式 (表紙左上に表示)	定型の別紙 (番号は各用紙右上に表示)					その他添付書類 (作成等ご準備をお願いします)							押印または署名
			別紙 1	別紙 2 1	別紙 2 2	別紙 3	濃厚廃液調査票	当該施設の配置図	対象施設の構造図	操業系統図	排水の導水経路図	汚水処理フロー図	用水排水の系統図	委託処分契約書写	
1	特定施設設置届	様式第六	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	特定施設使用届	様式第七	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	特定施設の構造等変更届	様式第八	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
4	氏名変更等届	様式第十						×							×
5	特定施設使用廃止届	様式第十一						○							×
6	承 継 届	様式第十二	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
7	公共下水道使用開始（変更）届	様式第四						×							○
	公共下水道使用開始届	様式第五						×							○
8	除害施設設置等計画届★	第 6 号様式	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
添付書類の見本の掲載箇所（ページ）			6	7	8	9	10	11	12	13	11	14	15		

【備考】

○印は、必要なもの。

×印は、不要なもの。

△印は、提出済の届出から変更が生じる個所に関して必要なもの（変更前後が対照できるものであること）。

★印は、特定施設の「設置」や「使用」、「構造等の変更」に係る届出と同時にを行う場合は、表紙のみの添付でよい。

—4—

6. 届出の記入要領と見本<設置の場合>



その他の届出は
17～25 ページ

様式第六（第八条関係）

特定

特定施設設置届出書



この届出には、添付書類が必要です（3 ページ参照）。

□□〇〇年〇〇月〇〇日

◆届出日を記入してください。

大阪市長 様

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地

電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇

氏 名 建設局工業株式会社

代表取締役 建設局 花子

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表の氏名）

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届出ます。

記入要領（◆は留意点）

工場又は事業場の名称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 (電話番号 6615 - 7525)	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
特定施設の種 類	66 電気めっき施設	←『水質汚濁防止法施行令別表第1』の特定施設ならびに『ダイオキシン類対策特別措置法施行令』の水質基準対象施設のうち、設置しようとする施設の種別を記載してください。
△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。	別紙 1 は 6 ページへ 別紙 2 は 7 ページへ 別紙 3 は 9 ページへ
△ 特定施設の使用の方法	別紙1のとおり。	
△ 汚水の処理の方法	別紙2のとおり。	
△ 下水の量及び水質	別紙3のとおり。	
△ 用水及び排水の系統	別紙3のとおり。	

備考

- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。



この別紙1では、特定施設本体に関する内容と、特定施設を用いた作業や発生する汚水について記入します。

特定

別紙1

特定施設の構造及び使用の方法

定型用紙1枚につき最大2種類まで特定施設を記入できます。
それより多種類の特定施設があれば、この用紙を増し刷りするか、下記項目を別表としてまとめて記載することも可能です。

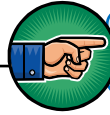
記入要領（◆は留意点）

特定施設の構造

特定施設の使用の方法

特 定 施 設 名 (特定施設番号)		電 気 め っ き 施 設 (6 6)				←特定施設の名称と号番号を記入してください。	
型 式		〇〇社製△△型 バレルめっき装置				←施設の型式等あれば記入してください。 ◆自社の場合は、自社設計と記入してください。	
材 質 ・ 形 状 ・ 寸 法		別図 (2) のとおり 別表 1 のとおり				←形状等が分かる図面を添付してください。 ◆別図2は12ページ参照。 ◆別表とすることも可能です(例16ページ)。	
能 力		金属部品 12.8 t / 日・基				←施設を1日連続稼働させた場合の最大能力を記入してください。	
設 置 数		1 基				←同一機種の数を入力してください。	
特定施設及び関連する 主要機械・主要装置の配置		別図 (1) のとおり				←事業場平面図を添付してください。 ◆別図1は11ページ参照	
新 設 ・ 変 更 の 着 手 予 定		〇〇年 3 月 1 日				←『新設』『変更』である場合は、各予定年月日を記入してください。 ←『既設』の場合は、「予定」の文字を二重消しし、実施日を記入してください。	
完 成 予 定		〇〇年 3 月 3 1 日					
使 用 開 始 予 定		〇〇年 4 月 1 日					
特 定 施 設 の 設 置 場 所		別図 (1) のとおり				←事業場平面図を添付してください。	
特 定 施 設 を 含 む 操 業 の 系 統		別図 (3) のとおり				←作業フロー図を添付してください。 ◆別図3は13ページ参照。	
一 日 の 使 用 時 間 (実稼働時間)		8 時～ 17 時 (8) 時間				←施設の作業時間帯および実稼働時間を記入してください。	
使用の季節的変動の概要		⑨9～10月は10時間稼働			無	←処理施設の稼働について、季節的変動があれば⑨とし、概要を記載してください。なければ⑩と記入します。	
使用原料又は使用薬品の 種 類 と 使 用 方 法 及 び 一 日 あ た り の 使 用 量		青化ソーダ Δkg 苛性ソーダ Δkg 他 (別表1のとおり)				←特定施設において使用する原料又は薬品の種類と量を記入してください。 ◆有害物質は微量でも記載してください。 ◆別表に記入することも可能です。	
特 定 施 設 か ら 排 出 さ れ る 汚 水 の 量 及 び 水 質		水量 (m ³ /時)	水 質 (mg/L)				←特定施設から排出される汚水の1時間あたりの水量と水質の通常値と最大の値を記入してください。 ◆通常とは、平均値をいいます。 ◆水質の項目は、原材料等から推測し記入してください。 ◆新設の場合、予想される水量と使用薬品から算出し記入してください。 ◆別表に記入することも可能です。
			pH	CN	Cr ⁶⁺	Zn	
	最 大	6.0	2~11	200	20	240	
通 常	4.5	3~10	150	15	170		
他特定施設の構造及び使用 方法について参考となる事項		亜鉛めっきライン（建具） ※更新設置				←参考となる事項（作業ライン名・設置形態等）を記入してください。 [例] 増設・新規設置・更新設置 等	

構造等変更届の場合、図番号は枝番号を付記するなど、変更前後が対照可能なものとしてください。
【一例】（変更前）別図1-a、（変更後）別図1-b 等



この別紙2-1では、事業場内で発生する汚水の処理方法や処理施設の稼働状況について記入します。

特定

除害

別紙2-1

汚水の処理の方法

		記入要領（◆は留意点）														
処 理 方 法	酸化、還元、中和凝集沈殿処理法	←一般的な名称を記入してください。 [例] 中和法・油水分離法・委託処分														
処 理 施 設 の 設 置 場 所	別 図 （ 1 ） のとおり	←事業場平面図を添付してください。 ◆別図1は11ページ参照														
着 手 予 定	〇〇年 8月 1日	←『新設』『変更』の場合は、各予定年月日を記入してください。 ←『既設』の場合は、「予定」の文字を二重消しし、実施日を記入してください。														
完 成 予 定	〇〇年 8月 31日															
使 用 開 始 予 定	〇〇年 9月 1日															
処 理 施 設 の 概 要	別 紙 2-2 のとおり	←この欄は記入不要です。 ◆別紙2-2は次ページ参照														
汚 水 処 理 の 系 統 (フローシート等添付のこと)	別 図 （ 4 ） のとおり	←処理施設について分かりやすく図示したフローシートを添付してください。 ◆別図4は14ページ参照														
汚 水 の 集 水 及 び 処 理 施 設 までの導水方法	別 図 （ 1 ） のとおり	←処理施設までの排水経路を色分け等で識別できるように記入してください。														
処 理 施 設 の 使 用 時 間 (実稼働時間)	8時 ~ 18時 (9) 時間	←処理施設の稼働時間帯や実稼働時間を記入してください。														
処 理 施 設 の 使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要	④ 6月~9月は11時間稼働 無	←処理施設の稼働について、季節的変動があれば④とし、概要を記載してください。なければ⑤と記入します。														
処 理 に 使 用 す る 薬 品 の 種 類 及 び 1 日 あ た り の 量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬品名</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硫 酸 (9 8 %)</td> <td>20L</td> </tr> <tr> <td>苛 性 ソ ー ダ (4 8 %)</td> <td>20L</td> </tr> <tr> <td>次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ</td> <td>20L</td> </tr> <tr> <td>消 石 灰</td> <td>2kg</td> </tr> <tr> <td>重 亜 硫 酸 ソ ー ダ</td> <td>2kg</td> </tr> <tr> <td>高 分 子 凝 集 剤</td> <td>100g</td> </tr> </tbody> </table>	薬品名	使用量	硫 酸 (9 8 %)	20L	苛 性 ソ ー ダ (4 8 %)	20L	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ	20L	消 石 灰	2kg	重 亜 硫 酸 ソ ー ダ	2kg	高 分 子 凝 集 剤	100g	←排水を処理するために、使用する薬品の種類、濃度、1日あたりの使用量を記入してください。
薬品名	使用量															
硫 酸 (9 8 %)	20L															
苛 性 ソ ー ダ (4 8 %)	20L															
次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ	20L															
消 石 灰	2kg															
重 亜 硫 酸 ソ ー ダ	2kg															
高 分 子 凝 集 剤	100g															
処 理 前 後 の 水 質 及 び 水 量	別 紙 2-2 のとおり	←この欄は記入不要です。														
処 理 に よ り 生 じ る 残 さ の 種 類 及 び 生 成 量 並 び に 処 理 の 方 法	脱水污泥 2,000kg/月(含水率70%) 月 1 回 ◇◇クリーンへ処分委託	←排水処理によって発生する污泥等の概要と処分について記入してください。														
汚 水 を 公 共 下 水 道 へ 排 除 す る 方 法 (排出口の位置及び数)	別 図 （ 1 ） のとおり	←事業場平面図を添付してください。														
設 計 及 び 施 工 業 者 名	[設計]〇〇製作所(株) 電話番号：××××-□□□□ [施工]△△設備工業(株) 電話番号：××××-◎◎◎◎	←設計および施工の業者名ならびに電話番号を記載してください。 ◆設計と施工の業者が異なる場合は、どちらも記入してください。														
発 生 す る 濃 厚 廃 液 の 種 類 お よ び 処 理 の 方 法	別添 濃厚廃液調査表のとおり	←この欄は記入不要です。 ◆別添の濃厚廃液調査票は10ページ参照														
そ の 他 汚 水 の 処 理 の 方 法 に つ い て 参 考 と な る 事 項	月に1回△△設備工業(株)に保守点検を依頼します。	←参考事項があれば記入してください。 ◆例えば、定期的な保守点検を専門業者へ依頼している場合は記入してください。														



この別紙2-2では、排水処理施設の規模や能力ならびに処理前後の水量・水質について記入します。

特定

除害

別紙2-2

処理施設の概要

装置名	材質	有効容量	主要寸法	滞留時間	備考
クロム系原水槽	コンクリート+FRP	8m ³	縦×横×高さ(深さ) 2.0m×2.0m×2.2m	4時間00分	(地上・地下)
シアン系原水槽	コンクリート+FRP	8m ³	2.0m×2.0m×2.2m	4時間00分	(地上・地下)
酸・アルカリ系原水槽	コンクリート+FRP	8m ³	2.0m×2.0m×2.2m	4時間30分	(地上・地下)
クロム還元槽	鉄+PVC	1m ³	1.0m×1.0m×1.1m	時間30分	(地上・地下)
シアン1次反応槽	鉄+PVC	1.5m ³	1.0m×1.5m×1.1m	時間45分	(地上・地下)
シアン2次反応槽	鉄+PVC	2.5m ³	1.2m×2.0m×1.1m	1時間15分	(地上・地下)
シアン滞留槽	鉄+PVC	1m ³	1.0m×1.0m×1.1m	時間30分	(地上・地下)
混合槽	鉄+PVC	2m ³	1.0m×2.0m×1.1m	時間20分	(地上・地下)
pH調整槽	鉄+PVC	3m ³	1.5m×2.0m×1.1m	時間30分	(地上・地下)
揚水槽	鉄+PVC	1.5m ³	1.0m×1.5m×1.1m	時間15分	(地上・地下)
凝集槽	鉄+PVC	1m ³	1.0m×1.0m×1.1m	時間10分	(地上・地下)
沈殿槽	鉄+I ⁺ 抄樹脂	18m ³	2.5mφ×5.0m	3時間00分	(地上・地下)
最終中和槽	鉄+PVC	2m ³	1.0m×2.0m×1.1m	時間20分	(地上・地下)
放流管理槽	鉄+PVC	1m ³	1.0m×1.0m×1.1m	時間10分	(地上・地下)
汚泥貯槽	鉄+FRP	6m ³	1.0m×1.0m×3.0m		(地上・地下)
脱水機	フィルタープレス	100L	ろ過面積2m ²		(地上・地下)
脱脂廃液タンク	ポリエチレン	1.5m ³	1.2mφ×1.4m		(地上・地下)
塩酸廃液タンク	ポリエチレン	1.0m ³	1.0mφ×1.3m		(地上・地下)
硝酸廃液タンク	ポリエチレン	1.0m ³	1.0mφ×1.3m		(地上・地下)
クロメート廃液タンク	ポリエチレン	0.1m ³	0.4mφ×0.8m		(地上・地下)
三価クロメート廃液タンク	ポリエチレン	1.0m ³	1.0mφ×1.3m		(地上・地下)

記入要領
(◆は留意点)

↑各槽や装置の名称を記入してください。
◆同一名称は避けます。

↑各槽や装置の材質、汚水の貯留可能容量を記入してください。

↑各槽や装置の寸法を記入してください。
◆槽は内寸を計測してください。
◆滞留時間は、下記により算出します。
滞留時間(分)=槽容量(m³)÷最大流量(m³/時)×60分

↑各槽や装置の設置位置を選択してください。

備考：主要な装置の構造、配置についての図面及び仕様書等を添付してください。

処理前後の水量及び水質

処理前の水量・水質 (処理系統別に記入)		水量 (m ³ /時)	水質 [単位はmg/L、ただしpHを除く]						記入要領(◆は留意点)
処理系統			pH	γγ	Cr ⁶⁺	T-Cr	Zn	溶解性Fe	
クロム系	最大	2.0	2.0		20	30	50	6.0	←原材料や使用薬品から該当する水質項目のみ記入してください。 ←処理系統ごとに1時間あたりの水量や水質の通常及び最大の値を記入してください。 ◆通常とは、平均値をいいます。
	通常	1.5	3.0		15	20	40	5.0	
シアン系	最大	2.0	11	200			240		
	通常	1.5	10	150			170		
酸・アルカリ系	最大	2.0	2~11					35	←1時間あたりの水量や水質の通常及び最大の値を記入してください。 ◆排除基準値に留意します。
	通常	1.5	3~10					30	
処理後の水量・水質	最大	6.0	6.5~8.0	0.3	0.2	1.0	2.0	2.0	
	通常	4.5	7.5	検出せず	検出せず	0.5	1.0	1.0	



この別紙3では、事業場で使用する用水や排水に関する水量ならびに排出する下水の水質について記入します。

別紙3

特定

除害

下水の量及び水質

定型用紙1枚につき、最大3か所の排水口について記入可能です。
それより多くの排水口があれば、この用紙を増し刷りするか、下記項目を別表としてまとめて記載することも可能です。

記入要領（◆は留意点）

排水口名		No.1		No.2		No.3	
排水の種類		作業排水		生活排水		雨水	
水量 (m ³ /日)		最大	通常	最大	通常	最大	通常
水質		48	36	5	3		
(単位…mg/L ※pHを除く)	水素イオン濃度	6.5~8.0	7.5				
	生物化学的酸素要求量						
	浮遊物質						
	ノルマルヘキサン抽出物質						
	動植物油						
	シアン化合物	0.3	検出せず				
	六価クロム化合物	0.2	検出せず				
	銅及びその化合物						
	亜鉛及びその化合物	2.0	1.0				
	鉄及びその化合物(溶解性)	2.0	1.0				
クロム及びその化合物	1.0	0.5					
その他、下水の量及び水質について参考となる事項							

- ←排水口番号は、別図1と合致させてください。
- ←作業排水・冷却水・生活排水・雨水等を記入してください。
- ←排水口ごとに、通常と最大の排水量を記入してください。
- ←原材料や使用薬品等から推定される排水基準項目について水質分析を行い、その結果を排水口別に記入してください。
(生活排水と雨水は不要)
- ◆通常とは平均値をいいます。
- ◆下水排除基準値を超えないようにしてください。
- ◆処理水のみ放流する排水口は、別紙2-2の処理後の水質を転記できます。
- ◆多項目の場合、別表に記入することも可能です。
- ←参考となる事項があれば、記入してください。

同じ水量を記入してください。

用水及び排水の系統

用水の種類及び量	上水道	39 m ³ /日		
工業用水		m ³ /日		
河川水		m ³ /日		
循環水及び回収水		m ³ /日		
その他()		m ³ /日		
合計		39 m ³ /日		
排水の種類及び量	排水口名	No.1	No.2	No.3
排水の種類及び量	作業排水	36 m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	冷却水	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	直接	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	間接	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日
	その他排水(生活排水)	m ³ /日	3 m ³ /日	m ³ /日
小計		36 m ³ /日	3 m ³ /日	m ³ /日
合計		39 m ³ /日		
用水及び排水の系統図		別図(5)のとおり		

- ←事業場で1日に使用する用水量の種類ごとに記入してください。
- ◆循環水や回収水は用水として再利用する量を記入してください。
- ◆地下水はその他に記載してください。
- ←排水口ごとに排水の一日あたりの通常量を記入してください。
- ◆別紙3上欄の水量と整合させてください(赤色丸印を参照)。
- ←フロー図を添付してください。
- ◆別図5は15ページ参照



濃厚廃液調査表



この調査表では、事業場から発生する廃液の発生状況、保管や処分について記入します。

発 生 箇 所 (番号)	種 類	主 要 成 分 及 び 濃 度	有 害 物 質	発 生 (回 収) 量	保 管 方 法	処 理 ・ 処 分 の 方 法
				発 生 (回 収) 周 期		
脱脂槽 ①、⑦	アルカリ脱脂廃液	苛性ソーダ △%	なし	1000L 2 週間	1500L タンクへ貯蔵	収集：〇〇興業(株)へ委託 処分：(株)△△産業へ委託
酸洗槽 ④	酸洗廃液	塩 酸 △%	なし	500L 3か月	1000L タンクへ貯蔵	1000L タンクより排水処理施設 へ点滴投入する(20L/時)。
回収槽 ⑪	亜鉛鍍金液	苛性ソーダ △% 亜 鉛 △% 青化ソーダ △%	シアン	200L 毎日	回収槽内で一時貯留	作業終了時、水中ポンプを 用いて鍍金槽⑩へ返す。
硝酸槽 ⑬	硝酸廃液	硝 酸 △%	硝 酸	500L 3か月	1000L タンクへ貯蔵	1000L タンクより排水処理施設 へ点滴投入する(20L/時)。
三価クロメート槽 ⑮	クロメート廃液	ケイフッ化ソーダ △% 有 機 酸 △%	ふっ素	50L (1000L) 毎日 (1 か月)	1000L タンクへ貯蔵	収集：〇〇興業(株)へ委託 処分：(株)△△産業へ委託
クロメート槽 ②	クロメート廃液	重クロム酸 △%	六価クロム	100L 毎日	100L タンクへ貯蔵	100L タンクよりクロム原水槽 へ点滴投入する(15L/時)。
↑ 別図 3 の操業系統図へ記載した施設名称や固有番号を記入してください。	↑ 濃厚廃液に関する主要成分を記載してください。		↑ 含有する有害物質の項目を記入してください。 ◆微量でも記載してください。 ◆水濁法施行令第2条の有害物質を記入してください。	↑ 濃厚廃液の1回あたりの発生量と頻度を記載してください。	↑ 濃厚廃液を保管する方法について記載してください。 ◆廃液タンクの場合、容量を記入してください。	↑ 濃厚廃液の処理や処分の方法について記入してください。 ◆処理・処分を専門業者に委託する場合は、収集運搬・処分ごとに業者名を記載してください(委託契約書や産業廃棄物管理票に記載されています)。

備考

- 発生箇所の欄には、別紙1の「特定施設を含む操業の系統」の番号も記入してください。
- 保管方法、処理・処分の方法は、できるだけ詳しく記入してください。

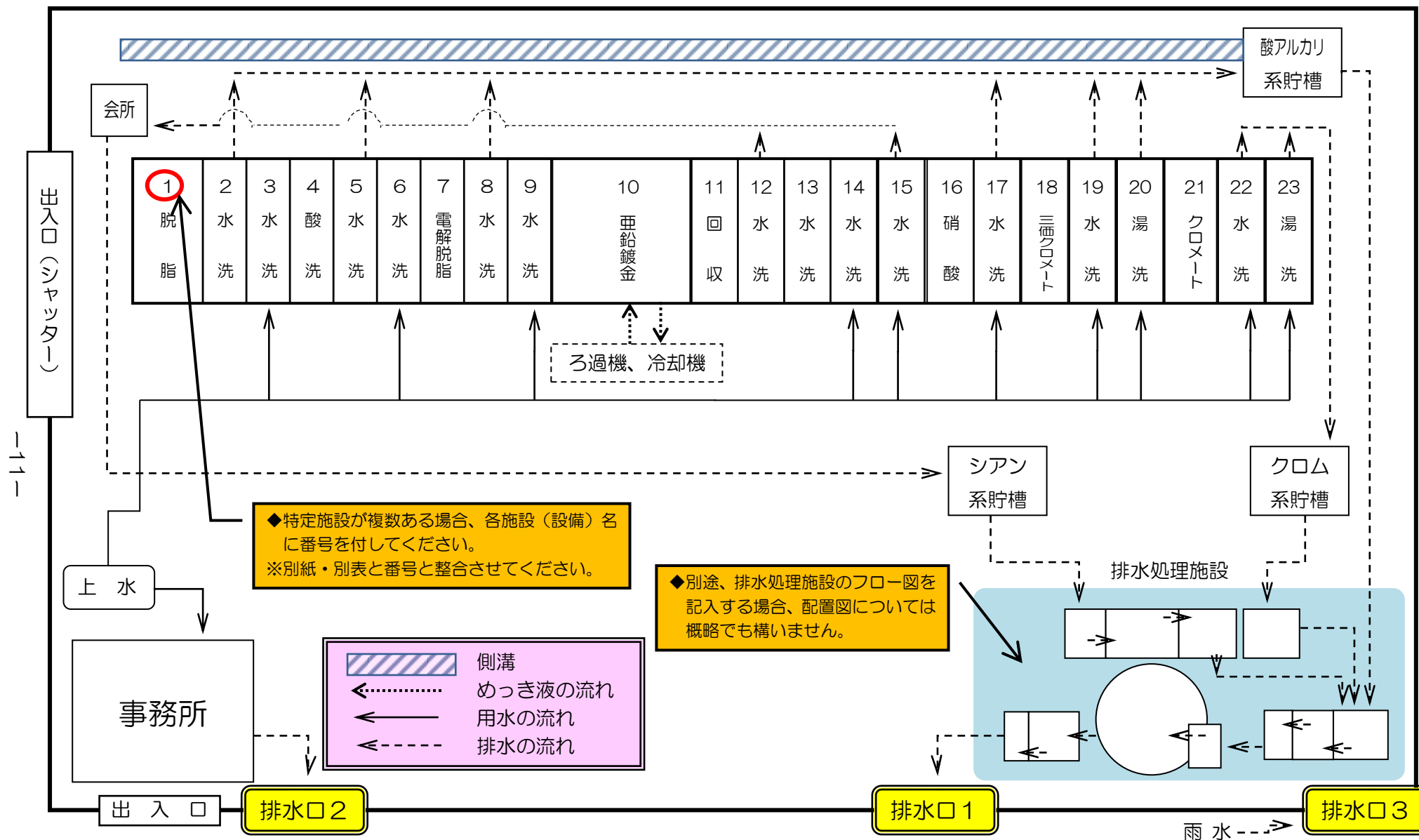
各施設の配置図、汚水の集水および導水方法

特定 除害



この別図では、特定施設・排水処理施設・給排水系・公共ます（排水口）の位置を記入します。

【別図1】



特定施設の構造図

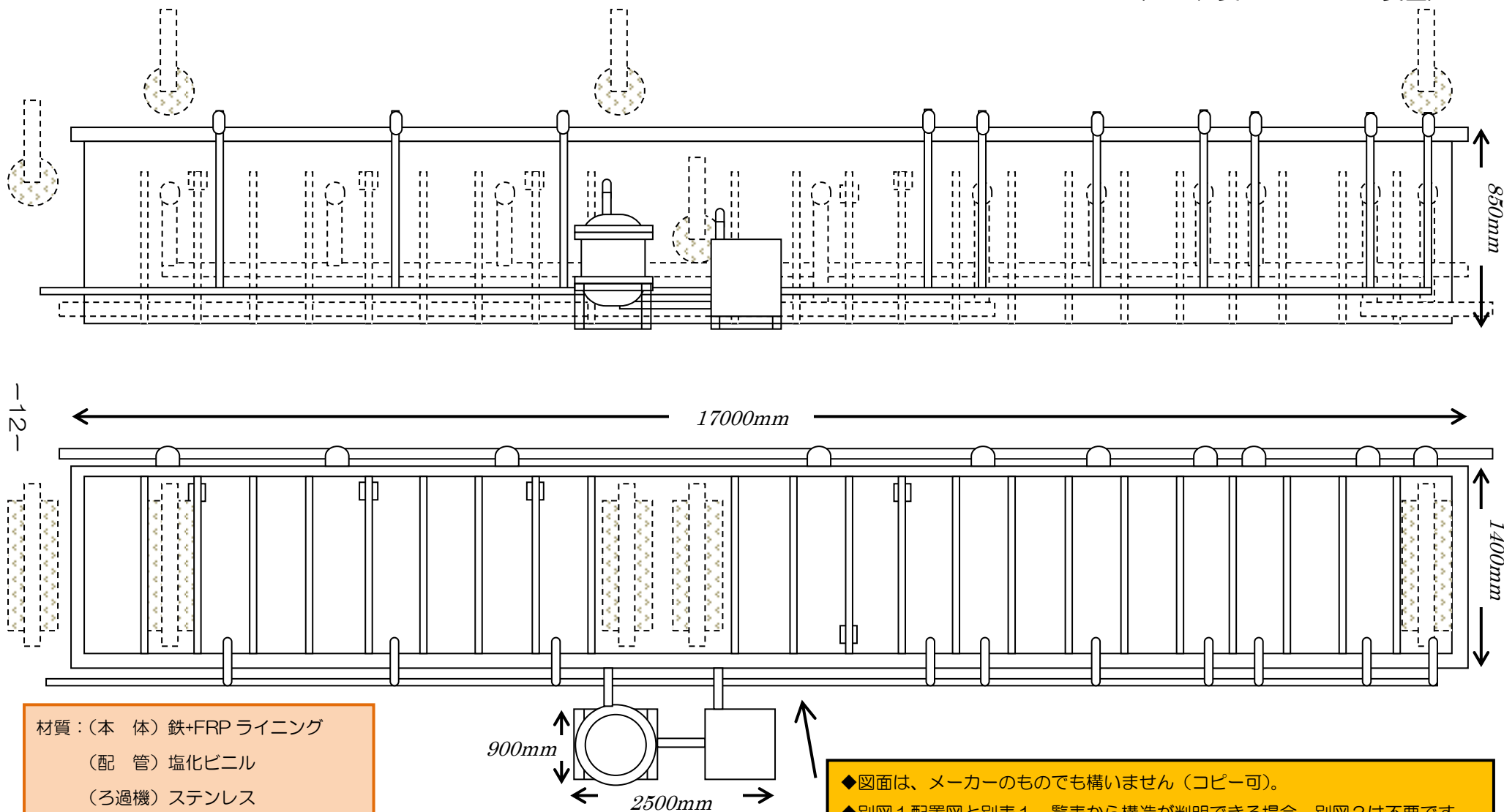
特定



この別図2では、特定施設の材質・形状・寸法について記入します。なお、特定施設以外にも、施設本体に付帯する設備についても記入します。

【別図2】

(〇〇社製△△型バレル装置)



材質：(本 体) 鉄+FRP ライニング
(配 管) 塩化ビニル
(ろ過機) ステンレス
(冷却機) 鉄+耐酸塗装

- ◆図面は、メーカーのものでも構いません（コピー可）。
- ◆別図1 配置図と別表1 一覧表から構造が判明できる場合、別図2は不要です。
- ◆図面が複数になる場合、枝番（例えば別図2-1 など）を記入してください。

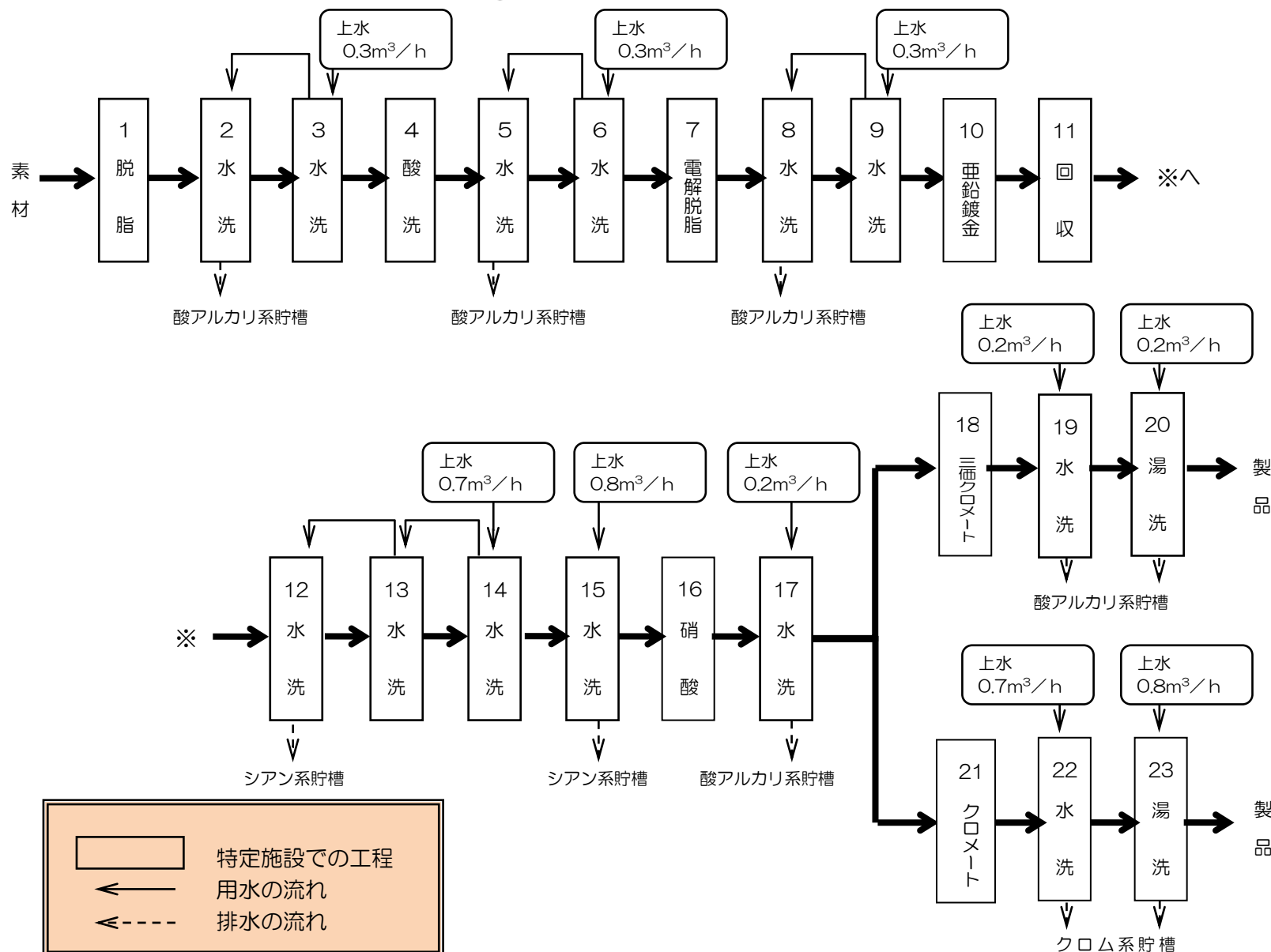
特定施設を含む操業系統図

特定



この別図3では、特定施設に関連する作業フローを記入します。汚水の発生状況を確認するため、給水や排水の位置・水量を記入してください。

【別図3】

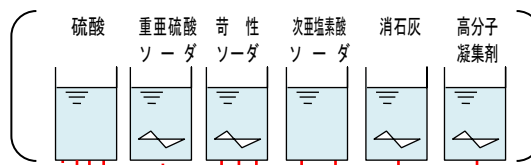


処理施設の処理系統図

特定

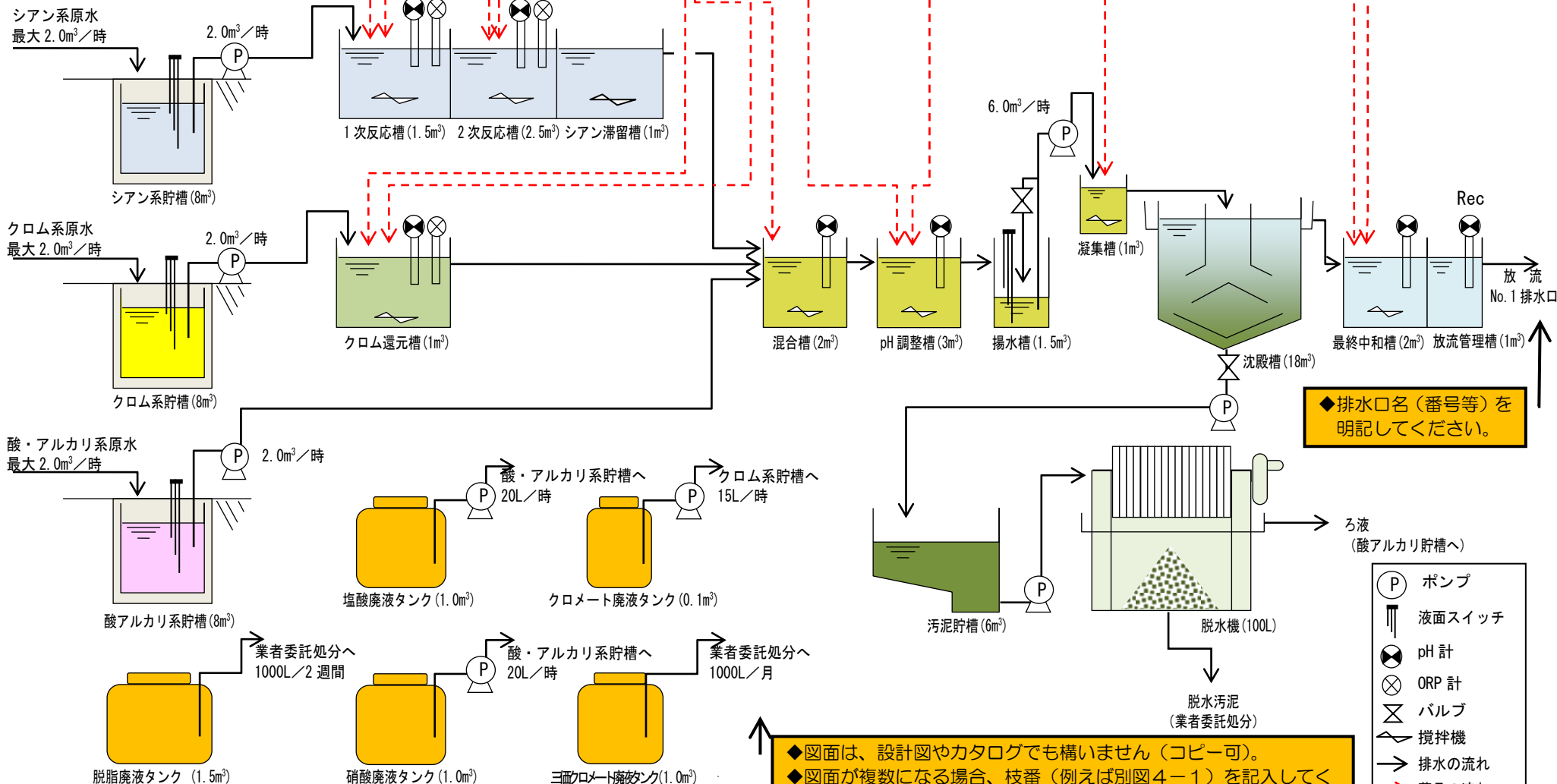
除害

各薬品貯槽
容量：200L



【別図4】

この別図4では、除害（排水処理）施設を設置する場合に記入します。
⇒汚水系統や処理方法が分かるように処理フローの他、機器や流量を記載してください（仕様書も添付してください）。



◆排水口名（番号等）を明記してください。

◆図面は、設計図やカタログでも構いません（コピー可）。
◆図面が複数になる場合、枝番（例えば別図4-1）を記入してください。

- (P) ポンプ
- 液面スイッチ
- pH計
- ORP計
- バルブ
- 攪拌機
- 排水の流れ
- > 薬品の流れ

用水と排水の系統図

特定

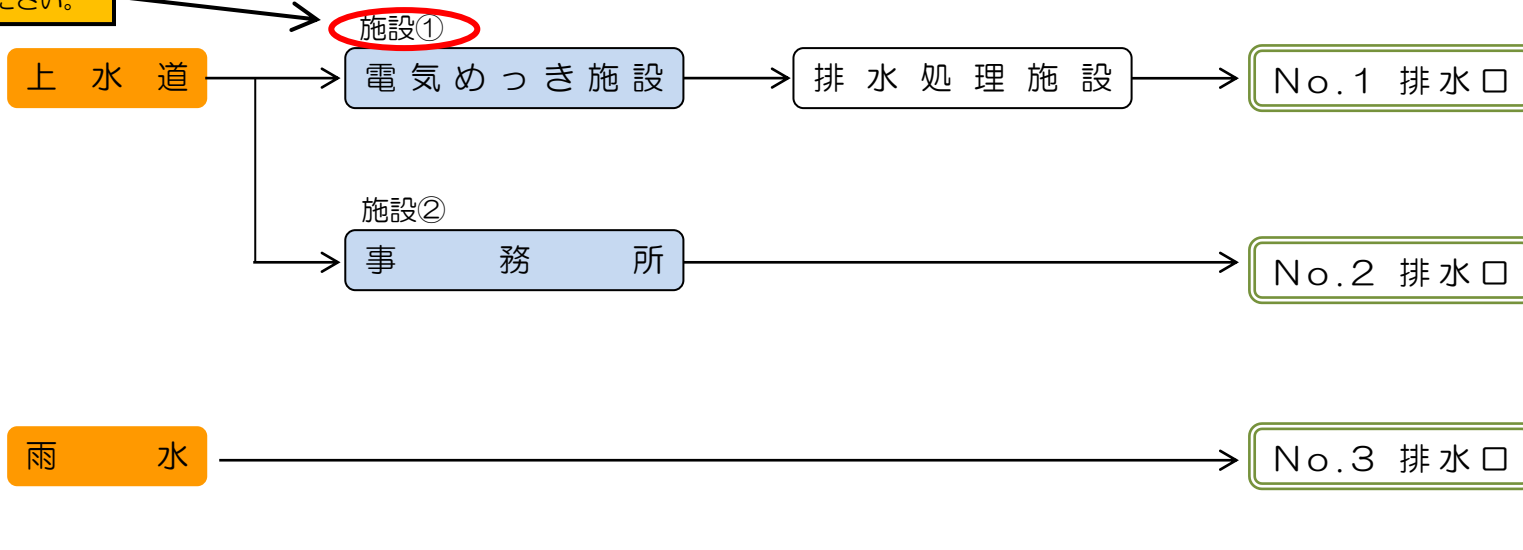
除害



この別図5では、事業場全体の用水・排水の系統について記入します。
⇒事業場の周囲にある雨水の排水口も記入してください。

【別図5】

◆下記表と一致させてください。



◆施設毎に、用水の種類別使用量と用途を記入してください。
◆一日当たりの平均量を記入してください。

◆別紙3（9ページ）の下水の量を転記してください。
◆雨水のみの排水口については斜線としてください。

施設		①	②
用水 (m ³ /日)	上水道	36	3
	工業用水		
用途 (m ³ /日)	洗浄水	36	
	冷却水		
	その他		3

排水量 \ 排水口	No.1	No.2	No.3
通常 (m ³ /日)	36	3	
最大 (m ³ /日)	48	5	

特定施設の一覧

特定



この別表 1 は、事業場内に複数の特定施設を設置する場合、別紙の補足として記載します（特定施設が多い場合、必要に応じ下表を参考にして作成してください）。

【別表 1】

No.	設備	主要寸法(mm)	容量 m ³	材質	地上・地下	薬品の種類と使用量
1	脱脂槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	苛性ソーダ△△kg
2	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
3	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
4	酸洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	塩酸△△kg
5	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
6	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
7	電解槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	苛性ソーダ△△kg
8	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
9	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
10	亜鉛鍍金槽	1400W×1600L×800H	1.5	鉄製 FRP ライニング	地上	苛性ソーダ△△kg、青化ソーダ△△kg、金属亜鉛△△kg
11	回収槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
12	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
13	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
14	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
15	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
16	硝酸槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	硝酸△△kg
17	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
18	三価クロメート槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	ケイフッ化ナトリウム△△kg
19	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
20	湯洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
21	クロメート槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	無水クロム酸△△kg
22	水洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	
23	湯洗槽	1400W×700L×800H	0.7	鉄製 FRP ライニング	地上	

7. その他の届出の記入要領と見本



別紙等の記入要領と見本は、届出の手引き6～16ページをご覧ください。

様式第七（第九条関係）

特定

特定施設使用届出書



この届出には、添付書類が必要です（3ページ参照）。

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。



◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。



申請者
住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地
電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇
氏 名 建設局工業株式会社
代表取締役 建設局 花子

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表の氏名）

{ 下水道法第12条の3第2項
~~下水道法第12条の3第2項~~ }

の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

		記入要領（◆は留意点）
工場又は事業場の名称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 （電話番号 6615 - 7525 ）	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
特定施設の種類	66 電気めっき施設	←『水質汚濁防止法施行令別表第1』の特定施設ならびに『ダイオキシン類対策特別措置法施行令』の水質基準対象施設を記載してください。
△ 特定施設の構造	別紙1のとおり。	別紙 1 は 6 ページへ 別紙 2 は 7 ページへ 別紙 3 は 9 ページへ
△ 特定施設の使用の方法	別紙1のとおり。	
△ 汚水の処理の方法	別紙2のとおり。	
△ 下水の量及び水質	別紙3のとおり。	
△ 用水及び排水の系統	別紙3のとおり。	

備考

- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

特定

特定施設の構造等変更届出書



この届出には、添付書類が必要です（3ページ参照）。

□□〇〇年△△月◇◇日

◆届出日を記入してください。➔

大阪市長 様

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地
電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇
氏 名 建設局工業株式会社
代表取締役 建設局 花子

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表の氏名）

下水道法第12条の4の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届出ます。

		記入要領（◆は留意点）
工場又は事業場の名称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 (電話番号 6615 - 7525)	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
特定施設の種類	66 電気めっき施設	←『水質汚濁防止法施行令別表第1』の特定施設ならびに『ダイオキシン類対策特別措置法施行令』の水質基準対象施設を記載してください。
△ 特定施設の構造（特定施設の使用の方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統）	別紙のとおり。 別紙 1 は 6 ページへ 別紙 2 は 7 ページへ 別紙 3 は 9 ページへ	←届出済の特定施設や処理施設に変更が生じる事項（別紙）を記入してください。 ◆排水処理（除害施設）に関する変更の場合、別紙1は不要です。 ◆別紙については、変更前後の内容が対照できるようにしてください。

備考

- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

特定

氏名変更等届出書

添付書類は
ありません。

□□〇〇年△△月◇◇日

◆届出日を記入してください。➔

大阪市長 様

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。

申請者

住所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地

電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇

氏 名 建設局工業株式会社

代表取締役 建設局 花子

◆変更が生じる項目を囲み、それ以外の項目は二重消ししてください。
(氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名)

氏名(名称、住所、所在地)に変更があったので、下水道法第12条の7の規定により、次のとおり届け出ます。

			記入要領（◆は留意点）
変更の内容	変更前	代表取締役 建設局 太郎	←変更前の名称（屋号）・申請者所在地・申請者の氏名（役職名含む）を記入してください。 ◆合併によるものは、承継届となります。
	変更後	代表取締役 建設局 花子	←変更後の名称（屋号）・申請者所在地・申請者の氏名（役職名含む）を記入してください。 ◆複数の変更がある場合、例えば ①名称（屋号） ②氏名 と分けて記入してください。
変更年月日		□□〇〇年 4月 1日	←変更した年月日を記入してください。 ◆複数の変更がある場合、例えば ①平成〇〇年4月1日（名称） ②平成〇〇年4月5日（氏名） と、変更項目毎に記入してください。
変更の理由		役員交代のため	←変更した理由を記入してください。 ◆複数の変更がある場合、例えば ①イメージアップのため（名称） ②役員交代のため（氏名） と、変更事項毎に記入してください。 ◆理由の例・組織改正、提携会社の変更、本社移転、住居表示の変更 等

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること

特定

特定施設使用廃止届出書



この届出には、添付書類が必要です（3ページ参照）。

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。



◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地

電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇

氏 名 建設局工業株式会社

代表取締役 建設局 花子

(氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名)

特定施設の使用を廃止したので、下水道法第12条の7の規定により、次のとおり届け出ます。

		記入要領（◆は留意点）
工場又は事業場の名称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 (電話番号 6615 - 7525)	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
特定施設の種別	66 電気めっき施設	←『水質汚濁防止法施行令別表第1』の特定施設ならびに『ダイオキシン類対策特別措置法施行令』の水質基準対象施設を記載してください。
特定施設の設置場所	別図のとおり	←別図1『特定施設配置図』（11ページ参照）を添付してください。 ◆図面は廃止する施設が分かるようにマーキングしてください。
使用廃止の年月日	□□〇〇年8月31日	←廃止した年月日を記入してください。 ◆複数の廃止日がある場合、例えば ①平成〇〇年8月31日 （ニッケルめっきライン） ②平成〇〇年9月5日 （亜鉛めっきライン） と施設毎に記入してください。
使用廃止の理由	施設更新のため	←廃止した理由を記入してください。 ◆複数の変更がある場合、例えば ①施設更新のため ②業務変更のため と、施設毎に記入してください。 ◆理由の例・・・施設更新、作業変更、廃業、移転、業態変更 等

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

特定

承 継 届 出 書



この届出には、添付書類が必要です（3ページ参照）。

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。➔

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。

◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地

電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇

氏 名 建設局工業株式会社

代表取締役 建設局 花子

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名）

特定施設に係る届出者の地位を承継したので、下水道法第12条の8第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

		記入要領（◆は留意点）
工 場 又 は 事 業 場 の 名 称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工 場 又 は 事 業 場 の 所 在 地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 (電話番号 6615 - 7525)	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
特 定 施 設 の 種 類	66 電気めっき施設	←『水質汚濁防止法施行令別表第1』の特定施設ならびに『ダイオキシン類対策特別措置法施行令』の水質基準対象施設を記載してください。
特 定 施 設 の 設 置 場 所	別図のとおり	←別図1『特定施設配置図』（11ページ参照）を添付してください。 ◆図面は廃止する施設が分かるようにマーキングしてください。
承 継 の 年 月 日	□□〇〇年8月31日	←承継した年月日を記入してください。
被 承 継 者	氏名又は名称 有限会社 大阪市工業所 代表取締役 大阪一郎	←承継元の申請者の氏名ならびに住所（法人の場合は、法人の名称・代表者の氏名・所在地）を記入してください。
	住 所 大阪市北区中之島1丁目3番20号	
承 継 の 原 因	合併のため	←承継した理由を記入してください。 ◆原因の例・・合併、分社化、法人格変更（個人⇄法人、有限会社⇄株式会社等）、代表者死去（※個人企業の場合）

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

特定

公共下水道使用開始届

添付書類は
ありません。

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。➔

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地
電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇
氏 名 建設局工業株式会社
代表取締役 建設局 花子

(氏名又は名称及び法人にあつてはその代表の氏名)

次のとおり公共下水道の使用を開始するので、届け出ます。

排 除 場 所	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号	排 水 口 数	3か所
開 始 年 月 日	□□〇〇年△△月◇◇日	特 定 施 設 の 種 類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設

備考

- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 「特定施設の種類の欄は、水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号）別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成11年政令第433号）別表第二に掲げる号番号及び名称を記載すること。

◆公共下水道を使用開始する際に設置する特定施設を記入してください。

◆公共下水道の使用開始する日を記入してください。

◆公共ます等の排水口の数を入力してください。

◆特定施設を設置する工場・事業場の所在地を記入してください。

特定

除書

公共下水道使用開始（変更）届

添付書類は
ありません。

◆当該届出以外を二重消ししてください。

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。

◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。

◆押印は不要です。

申請者

住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地

電話番号 〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇〇

氏 名 建設局工業株式会社

代表取締役 建設局 花子

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表の氏名）

◆当該届出以外を二重消ししてください。

次のとおり公共下水道の使用を開始（変更）するので、届け出ます。

◆下水を排除する所在地を記入してください。

排 除 場 所 大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
建設局工業株式会社 めっき工場

排水口数

3か所

排 出 汚 水 の 水 量

月平均 1450 立方メートル 日最大 85 立方メートル

水 量 又 は 水 質 水 質

裏面のとお

次のページを
参照してください開 始 （ 変 更 ）
年 月 日

□□〇〇年△△月◇◇日

処 理 方 法

中和・凝集沈殿処理

施 設 名 称

電気めっき施設

◆公共下水道の使用の開始もしくは変更を行う年月日を記入してください。

◆想定される月平均の水量と1日あたり最大の排水量を記入してください。

◆汚水の水質は、使用薬品や原料等から推定される項目について裏面（次ページ）に記入してください。

◆排除基準に適合させるための排水処理の方法を記入してください。例）中和凝集沈殿処理、加圧浮上 等

◆特定事業場は特定施設名称を、それ以外の事業場は排水処理施設名称を記入してください。

様式第四（第6条関係）裏面

記

排水口 月量 項目	No.1 1300 立方メートル	No.2 150 立方メートル	No.3 0 立方メートル	単位	←工場・事業場から排除する 汚水について排水口毎に 水量を記載してください。
温度	45未満			度	
アンモニウム性窒素亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				ミリグラム／リットル	
水素イオン濃度	7.5			水素指数	
生物化学的酸素要求量				5日間、ミリグラム／リットル	
浮遊物質				ミリグラム／リットル	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量				ミリグラム／リットル	
{ 鉱油類含有量				ミリグラム／リットル	
{ 動植物油脂類含有量				ミリグラム／リットル	
窒素含有量				ミリグラム／リットル	
燐含有量				ミリグラム／リットル	
沃素消費量				ミリグラム／リットル	
カドミウム及びその化合物				ミリグラム／リットル	
シアン化合物	検出せず			ミリグラム／リットル	
有機燐化合物				ミリグラム／リットル	
鉛及びその化合物				ミリグラム／リットル	
六価クロム化合物	検出せず			ミリグラム／リットル	
砒素及びその化合物				ミリグラム／リットル	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				ミリグラム／リットル	
アルキル水銀化合物				ミリグラム／リットル	
ポリ塩化ビフェニル				ミリグラム／リットル	
トリクロロエチレン				ミリグラム／リットル	
テトラクロロエチレン				ミリグラム／リットル	
ジクロロメタン				ミリグラム／リットル	
四塩化炭素				ミリグラム／リットル	
1, 2－ジクロロエタン				ミリグラム／リットル	
1, 1－ジクロロエチレン				ミリグラム／リットル	
シス-1, 2－ジクロロエチレン				ミリグラム／リットル	
1, 1, 1－トリクロロエタン				ミリグラム／リットル	
1, 1, 2－トリクロロエタン				ミリグラム／リットル	
1, 3－ジクロロプロペン				ミリグラム／リットル	
チウラム				ミリグラム／リットル	
シマジン				ミリグラム／リットル	
チオベンカルブ				ミリグラム／リットル	
ベンゼン				ミリグラム／リットル	
セレン及びその化合物				ミリグラム／リットル	
ほう素及びその化合物				ミリグラム／リットル	
ふっ素及びその化合物				ミリグラム／リットル	
1, 4－ジオキサン				ミリグラム／リットル	
フェノール類				ミリグラム／リットル	
銅及びその化合物				ミリグラム／リットル	
亜鉛及びその化合物	1.5			ミリグラム／リットル	
鉄及びその化合物（溶解性）	1.0			ミリグラム／リットル	
マンガン及びその化合物（溶解性）				ミリグラム／リットル	
クロム及びその化合物	0.5			ミリグラム／リットル	
ダイオキシン類				ピコグラム／リットル	
摘要	作業排水	生活排水	雨水排水		←必要に応じ、別紙や別図を 添付してください。

- 備考： 1. 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
2. ※印のある欄は、令第9条の9第1項第6号に該当する項目について記載すること。
3. 「摘要」の欄は、排出汚水の水量又は水質の推定の根拠等を記載すること。
4. 除害施設の設置等を要する場合には、その概要を明らかにする図書及び図面を添付すること。



この届出には、添付書類が必要です（3ページ参照）。
※設置や構造変更に係る届出と同時にを行う場合、添付書類は共用できます。

除害施設設置等計画届

□□〇〇年△△月◇◇日

大阪市長 様

◆届出日を記入してください。



◆法人の場合は、法人の名称・所在地・電話番号、代表者の氏名を記入してください。
◆押印は不要です。



住 所 大阪府〇〇市●●町▲▲番地
氏 名 印 建設局工業株式会社
代表取締役 建設局 花子
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

大阪市下水道条例第10条の2第2項（又は第10条の3第5項）の規定に基づき、次のとおり届け出ます。

		記入要領（◆は留意点）
工 場 又 は 事 業 場 の 名 称	建設局工業株式会社 めっき工場	←法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 ◆事業場が複数ある場合、事業場名称も併記してください。
工 場 又 は 事 業 場 の 所 在 地	大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 電話番号 6615 - 7525	←施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。
作 業 内 容	建築金具のめっき加工	←工場・事業場で汚水の発生する主な作業内容を記載してください。 ◆作業内容例：食料品製造、厨房作業、自動車整備、品質検査、衣料の洗濯 等
△ 汚 水 等 の 処 理 方 法	別紙（2）のとおり	別紙 2 は 7 ページへ 別紙 3 は 9 ページへ
△ 下 水 の 量 及 び 水 質	別紙（3）のとおり	
△ 用 水 及 び 排 水 の 系 統	別紙（3）のとおり	

備考（1） △印の欄の記入については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用してください。

（2） ※印の欄には、記入しないでください。

（3） 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4としてください。

9. 届出書を提出される前に

事業者のみなさまが届出書の提出をされる際には、届出の受付を行う担当事務所において届出書類に不備が無いかの確認（形式審査）を行います（4 ページ参照）。形式審査で不備が認められた場合、当日に受付ができないこともあります。

それらを解消するため、過去の事例からよく見られる不備事項についてチェック欄を設けましたので、提出前にご確認をお願いします。

なお、届出の受付や形式審査を円滑に行うため、持参の際には、あらかじめ担当事務所（06-6967-0981）へ連絡をお願いします。



～届出書類の不備チェック～

確 認 事 項		✓
表 紙	届出の事由と届出用紙は合致していますか（2～3 ページ参照）	
	届出者の住所・氏名（代表者名）が正しく記載されていますか（5 ページ参照）	
	※押印（又は署名）が必要な届出の場合のみ 表紙に代表者の押印（又は署名）がありますか（5・17・18・22・23 ページ参照）	
	必要事項は漏れなく記載されていますか（5・18～26 ページ参照）	
別 紙	記載されている別図や別表の番号は合致していますか	
	※構造等変更届出の場合 変更部分について、変更の前後の内容を対照させていますか	
	別紙 1～3 の水量や水質は各々合致していますか	
	※別紙 2-2 に関する事項 処理装置の各滞留時間は、汚水最大量で算出されていますか	
	※別紙 3 に関する事項 排除する汚水の水質は、排除基準値以下ですか（排除基準一覧表を参照してください）	
別 図	施設の配置図は添付されていますか（11 ページ参照）	
	特定施設の構造図が添付されていますか（12 ページ参照）	
	施設を含む操業系統図が添付されていますか（13 ページ参照）	
	排水処理施設の処理フロー図が添付されていますか（14 ページ参照）	
	用水と排水の系統図は添付されていますか（15 ページ参照）	
別 表	※別表を添付している場合 施設の一覧表に必要事項が正しく記載されていますか（16 ページ参照）	
そ の 他	届出書類が情報公開の対象であると理解した上で作成しましたか（1 ページ参照）	
	届出書の提出部数（2 部または 4 部）を確認しましたか（4 ページ参照）	



＊大阪市の排水規制に関する新着情報は・・・

大阪市 排水規制

検索

令和 6 年4月改訂 Ver4.0

特定施設等の届出の手引き

【下水道法・大阪市下水道条例に基づくもの】

編集・発行 大阪市建設局下水道部下水道資源循環課(水質規制)

所在地 大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビル ITM 棟6階

【電話】06-6615-7525～7